

2018年7月26日

## -自社ブランドからOEM事業へ転換- (株)サカエのシュレッダー事業の集約化について

株式会社サカエ(代表取締役社長:松本弘一、本社:東京都港区、資本金:9,300万円)は、2013年7月1日からシュレッダーの自社ブランド「Shred Gear」を展開してきましたが、本年7月31日をもって販売を終了し、シュレッダーのOEM事業に集約します。

当社では、1976年、大手シュレッダー企業へのOEM供給をスタートし、日本のシュレッダー市場を支えてきました。そして、2013年7月1日、それまで培ったシュレッド技術により、自社ブランドのシュレッダー「Shred Gear」を立ち上げ、文具ルート、事務機器ルートなどを通じて、販売を進めてきました。

「Shred Gear」ブランドは、世界最小レベルの極小細断を実現した「kiwami」シリーズや大量細断を実現したモデル、詰まりトラブルを未然に回避する新機能スマートリバースシステム「楽どり」を搭載したモデルなど、シュレッダー市場をリードする画期的な製品を開発してきました。

一方、「Shred Gear」ブランドの販売と並行し、大手オフィス機器販売会社などとダブルブランドでの展開や、OEMでの製品提供などを進めてきました。

しかしながら、自社ブランド「Shred Gear」については、市場におけるシュレッダーの実勢価格の下落や、極小細断シュレッダー市場の伸び悩みなどから、企画設計・資材調達・製造・営業までをトータルで進めるビジネスモデルでは、さらなる収益拡大を目指すことが難しいと判断しました。

そのため、この度、現在展開している自社ブランドについて7月31日をもって販売を終了し、今後は、ダブルブランドでの展開やOEMでの製品提供に集約します。

### ■シュレッダー事業の集約化に伴う、今後の展開について

- 1) 現状で進めているダブルブランドやOEMでの製品提供に集約することで、営業経費の大幅な削減を実現し、収益の拡大を目指します。
- 2) 業界内でも高い評価を得ているシュレッド技術を用いて、極小細断など高付加価値シュレッダーから一般オフィス用シュレッダーなどについて、企画設計・資材調達・製造を行い、OEM供給します。
- 3) 当社東平井工場(群馬県)において、事務機メーカー・文具メーカーなどのあらゆるご相談に対応するシュレッダーのOEM部門を設置します。
- 4) 既に販売しているシュレッダーのメンテナンスについては、保守契約内容に応じて対応を継続します。

※当社HP(URL:<http://www.sakaecorp.com/>)をご参照ください。

— 本件に関するお問合せ先 —

【報道関係者】 株式会社サカエ 広報担当:総務部 西村  
TEL:03-3571-3849